

平成 30 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	アジアⅢ講座・准教授 ウルドゥー語
氏名 Name	北田 信
専門分野 Academic Field	南アジアの伝統芸能

主たる研究テーマ Principal Research Subject	南アジアの伝統芸能、新期インド・アリア語の中世文学
<p>ダカニー・ウルドゥー語による文学のビージャーブル学派を代表する詩人ヌスラティの『愛の花園』Gulshan-e-'Isq の最終章における婚礼の描写（饗宴+初夜）の研究をした。その成果は、京大の発行する学術雑誌に掲載される予定である。</p> <p>8月に Deer Park Institute（インド・ヒマーチャルプラデーシュ州 Bir）で開催された、中世ベンガル語文学の勉強会 Middle Bengali Camp に参加し講師を務めた。また、西ベンガル州コルカタの Jādabpur 大学ベンガル語科で、ネパールで発見されたベンガル語文献群についての発表をベンガル語で行った。また、西ベンガル州 Bākurā district, Bibardā 村において、伝統芸能 Pālā Kīrtan およびモノシャ女神の祭、蛇祈禱師による朗読を調査・動画記録を行った。</p> <p>9月にネパール・カトマンドゥを訪れ、Bhaktapur の王 Jagatprakāśamalla が古ネワール語を用いて著した歌詞集を、Kashinath Tamot 教授と共に解説・研究した。また、最大の祭りの一つ帝釈天祭 (Indra Jātrā) のイベントの一つ Devī Nāc の調査を行った。これはシヴァ神の娘 Kaumārī 女神が悪魔を退治する神話に基づく舞踊で、カトマンドゥ市旧市街 Kilāgal Tol の住民が伝承する。また、11月に再びネパールを訪れ、カトマンドゥ盆地南端に位置するファルピン村で開催される村歌舞伎 Kārtik Nāc の調査・動画記録を行った。今年の演目は、ヒンドゥー教の古伝書シヴァ・プラーナの一エピソード Candrasekhara に基づくものであった。</p> <p>2月に西ベンガル州北部 Cooch Behar の Acharja Brojendra Nath Seal College 大学で開催された国際学会に招待され、ネパールのベンガル語文献群についての講演を行った。さらに西ベンガル州 Bākurā district, Bibardā 村を訪れ、女性歌手による講談 Pālā Kīrtan (Māna-bhanjan) の動画記録を行った。この演目の中心をなすのは中世詩人 Caṇḍīdās 作とされる歌詞群である。またベンガル地方の古い都で考古学的に重要な Pukhaṇṇā (Skt. Puṣkarṇā) を見学した。</p> <p>ネパール国立古文書館に所蔵されるベンガル語演劇写本のうち、Pārijātaḥaraṇa, Uṣāharaṇa, Jalandharāsuravadha のローマ字転写テキスト（注釈・解説付）を作成し、研究報告書として阪大ディレクトリ (OUKA) にオンライン公開した。また、その過程で次のような重要性小さからざる発見をした。報告者は数年前に、ネパール国立古文書館所蔵コレクションの中から詩人 Baru Caṇḍīdās 作のベンガル語詩『クリシュナ賛歌』(Śrīkṛṣṇakīrtan)（推定 14 世紀）の写本断片を発見し、ベンガル語学界の関心を惹いていたが、上記の演劇写本二点の中に、二つのパラレルを新たに確認したのである。その結果、中世ベンガル語文学の最初期の歴史が大幅に書き換えられることになるが、それについては紙面が尽きたので、場を改めることにする。</p>	